

あなたのまわりで、こんな事業が進められています

住民参加による 個性豊かな まちづくり

1 安心・安全のまちづくり

～小中3校耐震・南小設計プロポーザル・赤砂崎利用計画など～

● 3小中学校の耐震改修工事着々と

本年度の町の最重点事業である南小学校を除く3小中学校の耐震改修工事が順調に進んでいます。

下諏訪中学校は北校舎、南校舎に補強鉄骨ブレースや耐震壁などを設置、小体育館は解体し鉄骨造り1階建てに改築します。南校舎には男女トイレを新設するとともに屋外に倉庫を設置。社中学校は南校舎に補強鉄骨ブレース、北校舎ともに耐震壁を設けます。金工木工棟の改修は夏休み中に終了。講堂棟は補強鉄骨ブレースを取付け大はり方づえ補強を進めています。

北小学校は普通特別教室棟、特別教室棟の補強鉄骨ブレース等による耐震改修と普通特別教室管理棟の耐震壁工事などいずれも来年2月末までの完成を目指しています。事業費は北小学校が約2億5百万円、下中・社中が約2億6千万円です。



● 「総合ハザードマップ」を全戸配布へ

自然災害による被害や範囲、避難経路・場所等の情報を掲載した「総合ハザードマップ」を本年度作成し全戸配布します。配布する総合ハザードマップは、地震、洪水、土砂災害の3編と航空写真、危険度を示すマップ、減災につながる安全対策や災害時の情報入手、非常持ち出し品リスト、国民保護などイラストを使ってわかりやすくまとめられています。町は、災害に強いまちづくりの推進を重要課題として取組んでおり、ハザードマップ作成もその一環です。



2 地域活性化まちづくり事業の推進

～御柱祭・エコエネルギー補助・伏見屋邸復元修理など～

● 町公式ホームページを全面更新

町の公式ホームページが10月1日から、全面更新されました。「ひとにやさしい」をキーワードに、音声読み上げや外国語翻訳機能などを加え、障がい者や高齢者、外国の方にも使いやすくなりました。デザインを一新し、イベント情報・最新の話題ニュース、各課の事業紹介などのコンテンツが加わりました。災害発生時には災害専用情報ページへ切り替え、逐次文字情報が発信されるなど災害時対応にも即応。下諏訪町を全国に発信する手段として大いに期待されています。

● 南小改築設計を公募型プロポーザルで実施

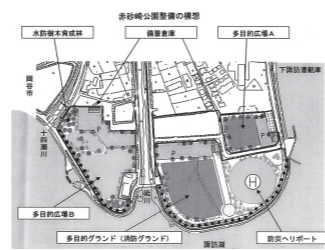
「豊かな感性育てる学校を！」町が平成23年度の実設計、24年度からの3カ年度で改築工事を計画する南小学校改築工事に伴う設計に関する公募型プロポーザルの説明会が9月行われました。改築の基本構想には『子どもたちが心地よさを感じられる』『多様な教育、学習に対応できる』『子どもの豊かな感性を育てる』など6項目が掲げられ、審査会は12月開催予定で、プレゼンテーションとヒアリングが行われます。

改築面積は約8,800平方メートル（改築約7千平方メートル、耐震含む改修約1千8百平方メートル）。

● 防災拠点へ、赤砂崎公園計画

長年検討を進めてきた赤砂崎公園周辺の未利用地の有効活用策について、町は公園区域を拡大し緑のオープンスペースとして公園整備を進めることになりました。公園整備にあたっては、安心・安全のまちづくりの視点から地域防災の拠点としての機能を備えつつも各種イベントにも活用できる施設の計画を検討しています。諏訪圏域の防災拠点として位置づけ、安心安全の地域づくりに寄与する施設として期待されています。6年計画で土地購入と施設整備を進め、事業費の総額は約27億円を見込んでいます。

対象となるのは、砥川右岸を含む7.3%。土地は町土地開発公社等から購入する予定です。



こんなことがありました この一年！



加藤 条治選手 長島 圭一郎選手



早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。今年は諏訪大社下社の御柱祭から始まり小宮の御柱祭で終わった祭り一色の一年でもありました。

また2月に行われたバンクーバー五輪のスピードスケート男子500メートルで、地元日本電産サンキョーに所属する長島圭一郎選手と加藤条治選手が銀・銅メダルを獲得、地元下諏訪町に喜びの大歓声が巻き起こりました。

ゆるぎない下諏訪力の創造へ！

「集中投資」限られた財源を重点事業へ

町ではこの一年間住み良い地域社会をつくるために積極的に施策を進めてきました。景気低迷により厳しい経済情勢が続いていますが、本年度は小中学校三校の耐震改修と一ツ浜保育園の改修を最重点事業として位置付け、優先的に実施をしています。町税など自主財源の落ち込みもあって、財政運営は楽ではありませんが、皆様からお預かりした貴重な税金を有効に活用しながら、住民主体のまちづくりを推進しています。

- 1 安心・安全のまちづくり
- 2 地域活性化まちづくり事業の推進
- 3 地域で守り育てる子ども支援策の推進
- 4 環境、福祉政策の充実
- 5 行政改革の推進

この五項目を施策の柱として、各種新規事業も始まり町民の皆さんと共に協働によるまちづくりを進めてきた一年でもあります。

住民要望と身の丈財政を両立させ、「景気低迷期における自治体経営のお手本」となるよう、また「地域の夢」を「地域の力」で実現していくため、皆様に積極的な参画をいただきたいと思えます。予算の執行にあたっては、行財政の一層の簡素化、発想と英知の結集による事務事業の徹底した見直しを實行し、計画的な事業運営のなか下諏訪らしさを失わないまちづくり推進のため確実な一歩を進めています。

● 太陽光発電システム等の設置に補助

昨年度から町内の施工業者を利用して50万円以上の経費で住宅の改修工事や耐震工事を行う場合に、経費の一部（工事費の100分の5相当額、限度額10万円）を補助する耐震・住宅リフォーム補助制度がスタートしましたが、本年度新たに「太陽光発電システム」と「高効率給湯器」の設置に要する費用の補助制度が始まりました。補助額は、太陽光発電システム導入は、1Kwあたり3万円（上限10万円）。高効率給湯器の設置が1台につき2万円です。

広報

No.573

小さな町もキラキラと 光る美しいまち

発行 下諏訪町 編集 総務課 情報防災係

〒393-8501 長野県諏訪郡下諏訪町4613-8 ☎ 0266-27-1111 FAX 0266-28-1070 下諏訪町ホームページアドレス http://www.town.shimosuwa.lg.jp E-mail=jyoho@town.shimosuwa.lg.jp